

地域活動報告

「紙ヒコーキ大会」

西区青少年指導員協議会 会長 澁谷 正道



横浜市



「大会指定の型紙」

西区といえば3月の「紙ヒコーキ大会」です。区内6地区の予選を勝ち抜いた「小学3年生以下」「小学4～6年生」「中学生以上・一般」の代表が集まります。

各予選会では朝 10 時から「紙ヒコーキづくり」、11 時から「競技」と、作ることから大会が始まります。同じ型紙で作るのですから、子どもも大人も同じようによく飛びます…となればよいのですが、そうはいかないものです。試投して笑顔になる人、なんで？となる人、つい力が入りすぎてしまう人、でもみんな楽しそうです。キズついた紙ヒコーキを直し、いよいよ本番となります。一人3回飛ばし、飛んだ時間の長さで競います。毎年この大会を楽しみにしている方がたくさんいます。それは、青少年指導員への期待の表れともいえます。西区青少年指導員協議会は、地域の期待に応えられるように日々精進していきます。



「飛行時間を競います」

「3年ぶりの合同研修会」

宮前区青少年指導員連絡協議会 副会長 森山 博之



川崎市

宮前区青少年指導員連絡協議会は宮前と向丘の2地区からなり、例年、両地区合同研修会を実施しています。コロナ禍で思うように実施できない状況が続いていましたが、令和4年度は川崎市総合防災訓練（九都市合同防災訓練）が宮前区で開催されることを受け、青少年指導員として訓練に参加し、活動中の災害を想定した研修内容とするのはいかがでしょうかと提案がありました。

訓練は首都直下型地震等の地震災害に備え、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を目的に開催され、23名の指導員が参加し、地震体験や煙体験などの災害体験のほか、AEDや応急手当による怪我などへの対応方法を体験しました。

訓練を通じて得られた知識を指導員間で共有し、活動時の備えに向けて継続して防災に取り組むことが大事であると感じた一日になりました。



「会場入口で集合写真」



「AED訓練の様子」

「さわやか体験学習～わら細作り～」

葉山町青少年指導員連絡協議会 水留 純子



横須賀・三浦

葉山町では、青少年指導員連絡協議会の主管事業として、小学生を対象にものづくりを行う「さわやか体験学習」を行っています。

今年度は、11月6日に町内小学校体育館を会場に、わらを使った「わら細作り」を行い、小学校3年生から6年生の13名が参加しました。

青少年指導員は、わらを「なう」経験がないので、インターネットで「わらのお飾りの作り方」を調べて指導しました。

当日は、わらのハカマとりを行い、湿らせ木槌でたたいて扱いやすくなりました。

子どもたちは、わら10本ずつの束3つ、計30本のわらで、しめ縄を作りリース状のお飾りを作りました。2つも3つも作る子もいました。作品は、クリスマスリースやお正月飾りに、活躍したかもしれません。

子どもたちも青少年指導員一同も、笑顔や歓声のあふれる楽しい時間を過ごしました。



「わら細作り体験の様子」



「参加者が作ったしめ縄」

地域活動報告

「親子ナイトウォークラリー」

海老名市青少年指導員連絡協議会 広報部長 功刀 洋一



海老名市

海老名市青少年指導員連絡協議会の最大の事業である「親子ナイトウォークラリー」を11月12日に開催しました。参加者249組が5キロと8キロの4コースをコマ地図片手に夜暗くなった海老名の街中を親子で楽しく歩きながらゴールの市役所を目指しました。

準備は1年前から始まり、ルート候補を立案し、何度もコースの試走を重ね、ルートを決定しコマ地図を作成します。当日のスタッフも、指導員だけでは足りずに指導員OBや市の職員の方々の協力も得て当日に臨みました。

長引くコロナ禍で3年ぶりの開催となり、指導員も運営に戸惑う場面もありましたが、当初予定の参加人数よりも大幅に多い市民の皆様に参加いただき、事故なく開催することができました。ゴールでの参加者の充実した表情に私達も嬉しく感じました。



「スタート！」



夜の街を歩きます！」

「サンドグラス体験」

寒川町青少年指導員連絡協議会 会長 江藤 教淳



湘南

寒川町では例年「子どもまつり」「さつまいも作り」「キャンプ」を開催しています。

今年度のキャンプ事業はコロナ禍のため内容を変更し、10月29日(土)藤野芸術の家にて体験学習「工房体験サンドブラスト」を企画しました。小学生3年生～6年生の20名が参加しました。午前中はジュニアリーダーズクラブによるレクリエーションを通して、朝緊張していた子ども達もすっ

かり打ち解ける事が出来ました。午後はメインイベントのサンドブラストです。自分の好きなグラスを選びシールを貼ったり好きな模様を切り抜いたり、一人一人熱心に集中して個性あるグラスが完成しました。アンケートでは「信じられないくらい楽しかった!」「難しいけど、自分で出来た時嬉しかった!」などの感想が寄せられ、とても良い体験になったのではと思います。



「作成中の様子」



「完成したサンドグラス」

「子どもクリスマス会」

大井町青少年指導員協議会 副議長 小野 浩二



県西

大井町青少年指導員協議会は、現在21名が所属しており、町内巡回パトロールや野外教育施設での体験学習補助などを行っています。

今年度も感染症拡大の影響から中止した事業がいくつかありましたが、当協議会では、町内の子どもたちが触れ合う場として「子どもクリスマス会」を企画し実施しました。本事業は、ジュニアリーダーズクラブや大井町笑顔特派員

スベリー・マーキュリー氏に御協力いただき、ドッジボールやプレゼント配付などを行いました。当初はどのくらいの人数が集まるか分からず不安でしたが、予想よりも多くの子どもたちに参加していただくことができ充実した活動となったと思います。今後も感染症の影響から活動が制限されることがあるかと思いますが、今回の経験をこれからの地域活動に繋げていきたいと思っています。



「ドッジボール」



「プレゼント配付」